

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・暖冬で厳しい冬となったが、その冬も過ぎ、春物の動きが活発になってきている。特にメンズにおいては今年のグレーやラベンダーなどの春物の動きが非常に良い。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前月に比べ、来客数が10%増加している。暖冬ということもあるが、飲料、弁当、おにぎり、菓子、デザートが良く売れている。
	やや良く なっている	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・10月中旬に出店した付近のショッピングセンターの影響を受け、11月から年内は来客数、売上が減少したが、年が明けて1、2月とやや回復しつつある。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・前年と比べてフォーマルスーツ等の高額商品の動きが良く、客単価が上昇している。
		住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・春商材、特に園芸用品の動きが平年より2週間早く売上高を底上げしている。
		ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・退職を迎える団塊世代の会員権購入希望が強い。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・ゴルフ場にとってこの暖冬は異常で、冬季割引料金は必要なかったほどである。コースコンディションも良好で、オープン来、初の真冬の最高来場者数を記録した日もある。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	販売量の動き	・当店は一般のアミューズメントパークと比べ、客の年齢層がある程度高めで、今までは31～32才の客が多かったが、このところネットカフェを中心に50～60代の客が増加してきている。ビリヤードなども同様の傾向にある。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・大型店の出店を間近に控え、中小スーパー共にチラシ合戦が行われている。消費者も新しい店に一度は行ってみたいからと普通の買物を控えている。
		一般小売店〔金物〕（経営者）	販売量の動き	・冬場は工事関係も非常に冷え込んでしまうところだが、今年は暖冬のために若干工事が進んでいるようで、例年よりは業績が良く、販売量が伸びている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数及び一点当たりの単価は前年をクリアしているが、販売点数及び客単価については若干の前年割れ、全体としては前年をやや下回っている。今月は衣料品が良かったが、食品についてはかなり苦戦しており、良くなったとも悪くなったともいえない。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・3か月前は食品部門が店を引っ張っていたが、今月は衣料品、住居商品、食品共にほぼ前年をクリアしており、売れている商品が変わっている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・恵方巻や節分豆、いわしなどの節分関連商品は前年同期比125%と大きく伸び、バレンタインは同108%、新入学のランドセルは数量ベースで同107%と、モチベーション関連商品は引き続き好調を維持している。1、2月の食品、住居、衣料共に、安定した気象与件も要因となり、週末の商品動向は前年同月比106%と良い状況である。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・来客数が増加傾向になって1年が経過するが、その1年前と比較しても10%以上の客数増となっている。客単価は低いレベルだが、安定的に前年をクリアできている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・高級ラーメン、チルド飲料、ノベルティアイスなどが前年を上回っているが、トータルでは前年並みである。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・客は車が本当に壊れるギリギリまで修理に入れてもくれず、買い替えたとしても下取りにならないほどの車しか下取れない。客がお金を使わないようにしているのが見え見えである。
		乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・2～3か月前の悪い状態のままあまり改善されていない。単価が低い車はほどほどに売れるが、単価の高い、輸入車でも何百万～千万円前後のクラスはほとんど売れない。

	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・週末は一般客、家族連れが来店し、単価的にも上向きであるが、平日、特に夜の飲み客は極端に少ない日が続いている。
	旅行代理店(従業員)	単価の動き	・正月明けは例年動きが悪い。春休みの家族旅行も安、近、短に偏っている。
	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・高額所得者が利用する海外長期旅行については出足が良いようだが、一般サラリーマン等を対象とした安、近、短の旅行の申込が少ない。
	旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・来客数はさほど変わらないが、内容がどうであれ、より低価格の商品に話がいく。団体の受注も少ない。
	遊園地(職員)	来客数の動き	・入場者数は前年を上回っており、売店、食堂の客単価が上昇してきている。
	競輪場(職員)	お客様の様子	・来客数、購買単価共にそれほど変化がみられない。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・暖冬のためカット客が増えているが、高単価のパーマ、エクステンションなどをかける客が少なくなっている。また、設備投資をする美容院も2割くらいは減っている。
	その他サービス [自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・毎月1~3台の廃車依頼があり、車が売れないといわれている割には、台替える客が多い。入庫する車両は古い車が多く、在庫量は前年比で1割減少している。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・3か月前と比べ今月はやや来客数があり、忙しい状況である。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・最近はい競売物件等に変化が出てきており、競売も1回で落ちるようになってきている。事務所系統のテナントは撤収、統合等がまだ行われているようで、依然として悪く、空室が目立っている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新学期を迎えるまでに新居を決めようという動きがみられ、現場見学会への来場者は増加しているものの、なかなか決定に至らない状況が続いている。
やや悪く なっている	一般小売店[家電] (経営者)	お客様の様子	・客の購買意欲がみえない。話題になっている地上デジタル放送機器にしても、購入時が来たらその時に購入すればいい、家電製品の価格はもっと下がるから購入は時期をみてとの声が聞かれる。量販店の売価にも影響され、家電小売店には厳しい状況である。
	百貨店(総務担当)	それ以外	・暖冬の影響で、冬物、特に防寒衣料、高額品がほとんど売れず、単価が下がっても売れない。食品品に関しては安くても必要以上は買わない傾向がある。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・暖冬による冬物防寒衣料の不振により苦戦している。
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・7か月にわたる断続的な店舗前道路工事により、ボディブローのように影響を受けてきている。来客数、売上の減少が止まらない。当店の客の95%は中高年女性であり、一度足が遠のいた客が果たして戻ってきてくれるのか非常に不安である。単品は相対的に伸びているが、全体の減収をカバーするまでには至っていない。
	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・幾分年末年始から元気が出そうな雰囲気があったが、今月は暖冬の影響をもろに受け、厚手がだめ、薄手でもセーター類やカーデガン類が相当に苦戦している。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型車も出て大型イベントを開催したが、新車の成約台数は前年比88%であり、廉価車に集中しているため、売上高、粗利共に大きく減少している。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・ランチタイムのサラリーマンやOL客の減少が強く感じられる。また逆にディナータイムの一部富裕層の客が売上を底上げしているが、売上全体では前年の5%くらい低下している。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・フリーの来客数が大きく落ち込んでいる。宴会も前年並みというところなので、全体としてかなりの落ち込みである。暖冬で鍋物の売行きが悪く、客単価も悪化している。
	都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・客単価が下がってきており、薄利多売状態になっている。

		旅行代理店（経営者）	それ以外	・季節的な要因もあるが、3か月前と比べるとやはり良くない。今年は暖冬ということもあり、雪が降らず、スキー場関係を中心に旅館や飲食、除雪関係などで影響を受け困っている人がいる。全般的に見ても、地方の景気は低迷状態である。
		タクシー運転手	販売量の動き	・暖冬の影響で、タクシーの運行回数が減少しており、単価も伸びない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・基準金利引き上げにより、様子見になることが考えられる。駆け込みもあるが、今まで順調だったものが少し止まる可能性があり、全体的には悪くなる。
悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・街の人通りは平日休日を問わずまばらで雰囲気も至って悪い。売上も不振であった前年実績をなかなか超すことができない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・前年同時期は好調であった地上デジタル関連商品に関して、昨年の冬季オリンピック特需的な要因も欠けている今年は、これから購入という人の財布のひもが固い。二次需要、三次需要と購買の深さが感じられない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・毎年2月は動きが良くない月だが、暖冬の影響もあるのか、今年は特に利用客が少ない。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・個人客からの依頼がなく、問い合わせもない。公的な仕事も年度替わりのために出てこない。もうしばらくこのような状態が続くのではないだろうか、不安である。
企業動向関連	良く なっている やや良く なっている	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・空室に予定どおり大きな面積のテナントが入居し、稼働したため、良くなっている。
		食料品製造業（営業統括）	取引先の様子	・大河ドラマの影響及び天候が良かったことも幸いして、来県者が前年より2割程度増えている。各メーカーとも順調に売上を伸ばしている。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末に向けて受注は好調である。工場も順調に稼働している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大変忙しく、良い状況である。新規の取引先からも大分話があるが、やりきれないので断っている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末に近く、駆け込み案件が多くなっている。引き合い案件は、相変わらず増加傾向にある。
変わらない		食料品製造業（製造担当）	それ以外	・原価コストが前年比で3分の1ぐらいと、通常に戻りつつあるが、販売量そのものはそれほど変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売量は多少良好だが、目標達成は厳しい。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・建設機械関連の仕事が相変わらず好調に推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここにきて生産調整が始まってきている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光地において、暖冬による外国人観光客への影響は比較的少ないといえるが、日本人観光客については、各種イベントの期間が短縮されたり中止になったりするものがあり、影響が出ている。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比97%とやや低迷している。量販店では、暖冬でパーゲン商品の売上も例年に比べて低調のようである。タクシー運転手は、やはり雪があったり、寒い方が客が多いと話している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・企業に関して、過去1年以内の商品、サービス戦略の優劣が業績の善し悪しに結び付く状況が起きている。マーケットに受け入れられる商品、サービスを提供出来ていないところは苦戦している。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・大型スーパーの閉店の心理的影響からか、商業、サービス業からのスポットコマercialが減少していたが、回復基調に入り、横ばい状況となっている。タイムコマercialは電機、自動車産業等の製造業は横ばい、官公庁からの受注は依然として厳しい状況にある。イベント受注は競争が激しく、採算割れとなっており、受注に結び付かない。

	やや悪くなっている	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	取引先の様子	・1月に行われた国際宝飾展に合わせて受注があったが、その後ばったりと注文がなくなっており、商品が動かない。仕事がなく困ると工場側は毎日問屋に何か仕事がないかと問い合わせしている。店頭で宝飾品の動きが鈍いことが原因である。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・ラジオやテレビで大分コマーシャルを流しているが、空部屋が多い。
	悪くなっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べ、受注が約5%程度落ち込んでいる。原材料コスト高が吸収しきれず、収益面も悪化傾向にあり、赤字になっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共事業主体の企業であるが、今期5か月経過で受注高が前年比90%、前期大幅赤字である。損益分岐点を考えた場合、前年比150%の売上確保が必要であり、厳しい。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・周辺地域にある大手スーパーやアウトレットなどの商業施設は日曜など東京並みに混んで芋を洗うようである。求人広告については、なかなか人を集めにくくなっているが、特に医者、看護婦や介護関係は以前に比べるとかなり募集広告が出ている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・小企業、零細企業からの求人が出ている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・紹介就職者数は12か月連続で前年同月を上回っており、19年1月は3.9%の増加である。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・今春卒業予定者の就職がほぼ一段落し、来年度に向けた1年生の就職活動が本格化している。採用活動が半月～1か月ほど前倒しされていたり、合同ガイダンスの数や参加企業数が大幅に増加傾向にあり、企業の採用意欲の現れと受け取っている。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・今年度初めて新規求人数が前年比で減少となっているが、求人数はここ4か月大幅な増減もなく推移している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数がここ何か月若干減少傾向にあるものの、ほとんど同じレベルで推移している。有効求人倍率も安定している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業において技術者の求人が目立つが、採用基準が即戦力などで応募者との間にミスマッチが生じており、結果として求人の充足が出来ずに継続した募集で求人数を押し上げている。現れる数字ほど良い状況にはない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数が減少している。電機電子、自動車関連の製造や販売などの人の動きはそんなにない。周辺企業も求人、広告の内容にかかわらず、人の動きが見られない。全体的には難しくなって雲行きが悪いという状況である。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・この時期、周辺の大中企業は春の新卒者を例年より多く受け入れるところもあり、中途の正社員募集は少ない。掲載されている求人募集の広告件数は多いが、募集しているのは商店などが目立っている。
	悪くなっている			